

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 年 月 日

事業所名 ココチムスタディ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・十分なスペースを確保し、療育を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	4		・個別指導を行っているため、1対1の対応。活動内容によっては1対1+α(職員)体制で行う。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		・室内バリアフリーの構造にしてあり、児童が集中しやすいよう空間を仕切るためのパーテーションを設置している。 ・活動スペースにはマットを敷いて滑らないようにしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・学習スペースと活動スペースを分けている。 ・時間前後に清掃をし、常に綺麗な状態を保てるよう心掛けている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・職員ミーティングは毎日行い、現状把握、課題の見直し、目標設定等を行っている。 ・職員間で情報共有を行い、様々な立場からの意見を聞き設定している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		・今回初めての事業所評価を行った。集計後公表を行う。意向の把握をし、職員間で検討・業務改善へ繋げていく。今後も継続して行っていく。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		・保護者等向け事業所評価に合わせ、職員間でも評価を行っている。集計後公表を行う。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・現時点で第三者評価を行った実践なし。今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・ABA認定セラピスト研修を行っている。 ・ABAセラピストによる専門的な知識を学ぶ機会を設けている。 ・ネットワーク会議等で研修情報を把握。必要があれば出席できるようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		・アセスメントを丁寧に行い、ニーズを把握し行動分析したうえで、支援計画を作成している。 ・アセスメントシートを基に聞き取り、細かい思いにも目を向けられるよう支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	・ABLLS-Rを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		・健康・生活・認知・行動言語・コミュニケーション・社会性の領域において、発達段階に配慮し、日常的支援を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		・職員間で支援計画をきちんと把握した上で支援を行うよう心掛けている。 ・ABA分析を行い、優先順位をつけて個別に計画している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・チームで話し合い、状況に応じて情報共有・立案を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・課題の習得状況や、発達段階等に応じて内容の構成を考え行っている。 ・定期的にプログラムの更新を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	2		・現状同時間での利用が1人ずつという状況。個別活動でのプログラムを組んでいる。今後利用者が増えてきたときに検討。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・職員ミーティングは毎日行い、情報共有を行っている。 ・前回の内容の振り返りをし、それを踏まえて内容や分担を決めている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・情報共有を必ず行い、振り返りも行い問題解決に努めている。 ・利用者の様子や行った内容を確認している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・毎回記録に残している。 ・活動中はデータを取り、終了後には利用者ごとに学習・活動表を記入し、支援の進行状況がわかるようにしている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		・定期的にモニタリング時期を設定し、見直しを行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・現状を最も把握している職員が参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		・必要に応じて療育コーディネーターの助言も受けながら支援の方針を考えている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・現在利用なし。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・現在利用なし。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	・情報交換を行っている。	・今後保育園との連絡帳でのやり取りができるよう調整中。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		・今後検討していく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		・現状なし。今後検討していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	・療育ネットワーク会議へ出席している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・送迎の際に、保護者の方とお子さんの様子を伺う時間を設けたり、連絡ノートでのやりとりを行っている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	・利用時に様子を見ていただいたり、対応について助言をしている。	・今後検討予定。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時にお伝えし、了承をいただいている。不明な点は随時職員が説明を行う。	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・同意いただき印とサインにて書面に残している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・送迎時及び連絡ノートを活用し、日ごろの様子や悩み等を共有し、必要があれば別途相談時間を設けて対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		・職員がペアトレ研修を修了したため、今後保護者へ開催できるよう計画していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。 ・LINE導入の要望があり、取り入れた。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	・個人情報に配慮しながら、活動内容や発達の様子、支援の仕方などをHP上でブログという形で発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		情報漏洩の無いよう取り扱い、保管には十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・伝わる方法、意思疎通の方法をお子さんや保護者の方に適正な方法で対応している。 ・児童とは話しやすい雰囲気や場所を提供し、発語するキーワードを聞き流さないように努力している。保護者とは連絡ノートや送迎の際に情報を共有できるように配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		・現状行事等を実施していない。今後行う際には検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	2		・マニュアルはあり。今後訓練実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		・今後実施予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・アセスメント・利用前会議時に確認し、フェイスシートに記入もしていただいている。お子さんの健康上の配慮する点、注意点は職員で情報共有を行う。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	・食事提供は無いが、アレルギーの把握は行っている。	・該当者いないが、今後必要際には対応していく。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		4		・現在事例なし。今後発生した場合には作成、共有していく。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2		・今後実施予定。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		・ドアに施錠などを行う場合は、必ず保護者の方に説明し、了承を得ている。	

○全体を通しての改善点

初めて実施したこともあり、職員間でも認識に差が出てしまった。今後は全職員が現状を把握・共有できるよう努めていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。